

大阪・関西万博のレガシー イチヨウの木が泉佐野丘陵緑地へ!!



泉佐野市は、2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）のレガシーを継承する取組として、シグネチャーパビリオン「Dialogue Theater - いのちのあかし -」を上之郷にある公園「泉佐野丘陵緑地」へ移設します。

「いのちのあかし」は、映画作家の河瀬直美さんがプロデュースした万博のシグネチャーパビリオンであり、「対話」を通じて他者と向き合い、いのちの価値や多様性について考える場として、多くの来場者を迎えました。

「いのちのあかし」を構成するシンボルツリーであるイチヨウ・植栽移植が完了したことを記念し、6月14日(日)、河瀬直美さん（テーマ事業プロデューサー）、石毛博行さん（公益社団法人2025年日本国際博覧会協会事務総長）、松本正義さん（公益社団法人関西経済連合会会長）などに「ご臨席いただき、記念式典が開催されました。」



©LESLIE KEE

河瀬 直美

Profile

生まれ育った奈良を拠点に映画を創り続ける映画作家。一貫した「リアリティ」の追求はドキュメンタリーフィクションの域を越えて、カンヌ映画祭をはじめ、世界各国の映画祭での受賞多数。大阪・関西万博のテーマ事業プロデューサーとして、泉佐野丘陵緑地への移設が決まったシグネチャーパビリオン「Dialogue Theater - いのちのあかし -」をプロデュース。

大阪・関西万博
シグネチャーパビリオン
「Dialogue Theater
-いのちのあかし-」



▶記念式典では、
イチヨウの木への
散水が行われました。



◀地域の子どもたちとの
交流も行われました。

